

# 令和4年度横浜市普通会計決算の概要

※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない可能性があります。

## 1 歳入

**2兆1,080億円**  
(対前年度△1,223億円)

《主な要因》

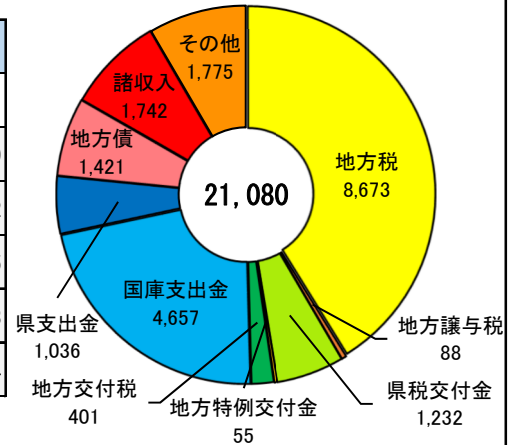
- ・(一財)横浜市道路建設事業団貸付金元利収入の減少等による諸収入の減 (△759億円)
- ・臨時財政対策債発行額の減少等による地方債の減 (△262億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R4年度	R3年度	増減
歳入総額	21,080	22,303	△1,223
諸収入	1,742	2,502	△759
地方債	1,421	1,683	△262
国庫支出金	4,657	4,841	△185
財産収入	433	606	△173
地方税	8,673	8,389	284

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳入の状況】(単位:億円)



## 2 歳出

**2兆729億円**  
(対前年度△1,297億円)

《主な要因》

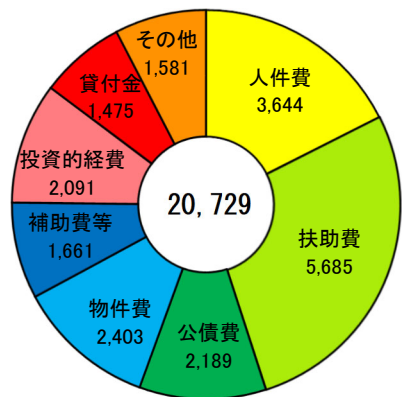
- ・(一財)横浜市道路建設事業団関連支出の減少等による投資的経費の減 (△1,068億円)
- ・新型コロナ対策に係る小規模企業特別資金預託金等の減少による貸付金の減 (△509億円)
- ・子育て世帯への臨時特別給付金の終了等による扶助費の減 (△177億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R4年度	R3年度	増減
歳出総額	20,729	22,026	△1,297
投資的経費	2,091	3,159	△1,068
貸付金	1,475	1,984	△509
扶助費	5,685	5,862	△177
物件費	2,403	2,241	162
公債費	2,189	1,941	248

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳出の状況】(単位:億円)



## 3 その他 (経常収支比率、地方債現在高、基金積立金現在高)

### (1) 経常収支比率

97.9% (+2.8ポイント)

【前年度比較】(単位:%)

区分	R4年度	R3年度	増減
経常収支比率	97.9	95.1	2.8

(過年度(参考) R2:100.5 R元:101.2)

### (2) 地方債現在高

2兆3,306億円 (△538億円)

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R4年度	R3年度	増減
地方債現在高(臨時債含む)	23,306	23,844	△538

### (3) 基金積立金現在高

498億円 (+1億円)

うち財政調整基金314億円\* (+1億円)  
※年度間調整分(120億円)や翌年度以降の活用のために、一時的に積み立てている金額\*を含んだ残高。

\*45億円(道路局財産収入)

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R4年度	R3年度	増減
基金積立金現在高	498	497	1
うち財政調整基金現在高	314	313	1